

# ベトナム・ホーチミン市における 高層ビル群、旧市街、郊外ニュータウンの色と建築の関係 Colors and Architectural Relationships among Skyscrapers, Old Town, and New Town in Ho Chi Minh City, Vietnam

小林紀晴

Kisei kobashi

東京工芸大学 164-8678 東京都中野区本町2-9-5  
2-9-5 Honcho, Nakano-ku, Tokyo, 164-8678, Japan

## 概要

いまなお発展著しい(2023年第4四半期GDP6.72%)ベトナム・ホーチミン市の高層ビル群(再開発地)、旧市街、郊外ニュータウンの三箇所を撮影地とし、ライトアップされた建築、広告ディスプレイなどに注目した。なかでも近年、東南アジアで使用頻度が急激に高まっているフルカラーLEDの照明に興味をもった。人の「欲望」は最初に都市の表層(建築物、広告など)に現れると仮定し、照明器具が上記三カ所でどう用いられているかを視野にいれながら、写真作品を制作。なお当初の予定にはなかった歓楽街を現地調査の過程で知り、加えた。



Fig1,2 レロイ通り沿 巨大なフルカラーLED 広告

## 1 はじめに

長くアジアの都市を撮影してきたが、近年その景観に共通した大きな変化があることに気がついた。フルカラーLEDなど新たな照明器具の多様化だ。建築家・磯崎新は「いま、中国でコンペをやると、都市の完成状態を夜景で描くように言われます。昼間は街の汚さが目立ちます、夜にライトアップすると幻想的な街に見える」[1]と発言。またフランスの人類学者マルク・オジェは著書『非一場所』[2]のなかで現在の都市空間を「スーパーモダニティ」と名付けた。それらを踏まえ、ホーチミン市を被写体(研究対象)に選んだ。

## 2. 高層ビル群(再開発地)

政府機関、商業、観光施設などが集中する一区、ビンタン地区を中心に撮影。特徴的なのは2000年以降に新たに建設されたホテルなどの装飾だ。フルカラーLEDを多用し、動画的に激しく変化する。さらにレロイ通り広場には夜になると20代を中心に多くの人が集うが、通り沿いには巨大なフルカラーLEDの電光看板が点在する。映し出される広告はコココーラ、H&Mなど海外資本の商品、ベトナム国内の有名女優などを起用した化粧品などが主(図1.2)。10,20代をターゲットとしたものであることは明らか。ベトナムの平均年齢は31歳(なかでも20歳後半の割合が非常に高いのが特徴)と若い。

## 3. 旧市街

チョロン(中華街)と呼ばれるエリア。昔ながらの面影を残す地区で、個人商店や路上で野菜、果物を売る露店が多い。露店の照明の光源は色温度6500kの電球型LED(図3)が中心。野菜、果物の色再現を正しくすることにより、新鮮であると訴えるためと考えられる。同じ理由で、魚などを扱う店でも6500kの電球型LEDの使用頻度が高い。肉類を扱う商店では色温度が3000kのものを使っている例が多い。赤みを帯びて同じく新鮮に映るためだと考えられる。白熱電球の使用頻度はかなり低い。LEDが選ばれるのは消費電力の少なさと寿命の長さからだと考えられる。



Fig3, 6500KのLED照明 チョロン地区の野菜市場

#### 4. 郊外ニュータウン

市内から車で1時間程の距離にあるビンズン省、ビンズン新都心では東急電鉄が省と合弁の「ベカメックス東急有限会社」を設立し「東急ビンズン田園都市」[3]の開発を2012年から行う。3つのエリアからなり、住宅ゾーン「MIDOR」内の HARUKA Terrace(図4)は緑と水が調和した低層住宅ゾーンで色温度の低い調光式の LED 照明を導入。それに対して商業・エンターテイメントゾーンである「SORA」の照明は原色使いで、次々と色を変える演出がされている。なお、省庁(図5)の巨大な建物もまたフルカラーLED が使用され、ベトナム国旗、共産主義のシンボルである「鎌と槌」の標章などがアニメーション的に次々映し出される。



Fig4、「MIDOR」 HARUKA Terrace



Fig5、ビンズン省庁

#### 5. 歓楽街

市街地西側のブイヴィエン通り。コロナ禍以前は外国人を対象とした安宿・飲食街だったが、外国人が去った後、ベトナム人好みのクラブミュージックを流し始める。水着姿の女性が立つ。レーザー光を多用した照明を放ち、通りそのものが巨大なクラブと化している(図6)。コロナ明けに外国人観光客がそれに注目し、再び外国人が集まる現象が起きている。



Fig6、ブイヴィエン通り

#### 6. まとめ

冒頭で述べた通り「欲望」は最初に都市の表層(建築物、広告など)に現れると仮定し撮影を行った。具象、心象を含め街のコントラストを強く感じた。そのなかには昼と夜の景観の差異も含まれる。磯崎新が語った「ライトアップすると幻想的な街に見える」の言葉が当てはまり、それを象徴する光景にも出会った。サイゴン川の荒地に夜だけオープンする簡易飲食店(図7)。多くの市民が、ライトアップされた対岸を望んでいた。あたかも「近未来」を夢見ているように感じられた。



Fig7、サイゴン川東岸から高層ビル群(再開地)を望む

Photo:©Kisei Kobayashi

#### 7. 参考文献

- [1]対談 磯崎新×ホンマタカシ  
写真専門誌『IMA』vol.29,2019 Autumn,amana
- [2] マルク・オジェ『非一場所』 訳・中川真知子 水声社 2017
- [3]TOKYU GARDEN CITY  
<https://tokyugardencity.com/ja/>
- [4]Ho Chi Minh MEGA City Michael Waibel(Hrsg.) regio SPECTRA 2013
- [5] 岩井美佐紀(編著)『現代ベトナムを知るための 63 章』明石書店 2004
- [6]Luat Vitenam 屋外広告規制概要・広告法・屋外広告媒体に関する国家技術規則  
<https://luatvietnam.vn/doanh-nghiep/quy-dinh-ve-quang-cao-ngoi-troi-561-29031-article.html>  
<https://luatvietnam.vn/thuong-mai/luat-quang-cao-2012-71732-d1.html>  
<https://vietart.co/blog/luat-lam-bang-hieu-quang-cao-tai-tphcm/>  
<https://luatvietnam.vn/xay-dung/thong-tu-19-2013-tt-bxd-bo-xay-dung-82815-d1.html>
- [7]ヴァンタン運河の改修計画 01  
<https://baodautu.vn/cuoc-dai-di-doi-dan-ven-kenh-rach-tphcm-vo-tran-vi-dau--bai-3-von-cong-du-an-trong-diem-chi-du-do-ve-d171588.html>  
ヴァンタン運河の改修計画 02  
<https://laodong.vn/bat-dong-san/tphcm-muon-day-nhanh-di-doi-nha-lup-xup-cai-tao-kenh-rach-bang-von-tu-nhan-1148576.lido>  
ヴァンタン運河の改修計画 03  
<https://laodong.vn/xa-hoi/tphcm-sap-chi-3200-ti-dong-hoi-sinh-hai-tuyen-kenh-rach-quan-trong-1157093.lido>